

豊中市社協ボランティアセンター設立 35 周年

豊中市社協ボランティア団体連絡会結成 30 周年記念

# ボランティアってなあに

～ 2022年度 ボランティア活動の手引き～



豊中のボランティアイメージキャラクター  
ボランちゃん



学び合い 育ちあい 分かちあい

## はじめに

豊中市社会福祉協議会では、少子・高齢社会の急速な進行や核家族化、生活困窮世帯の増加等による多岐にわたる福祉ニーズに対応する為、ボランティアセンターを設置し、ボランティアの育成や活動協力などを実施してきました。

ボランティアの需給調整は昭和 63 年(1988 年)から開始しましたが、今では市民や各種施設からさまざまな依頼が寄せられるようになり、ボランティアセンターへの期待はますます高まっています。この間、登録ボランティアグループの組織化をはじめ、ボランティア団体連絡会、災害支援ネットワーク等と連携をはかりながら、活動を実施してきました。なかでも、加盟団体間の情報交換や連携活動を通じてボランティア活動の啓発、ひいては地域福祉の向上を目指して、平成 4 年に結成されたボランティア団体連絡会は今年で 30 年を迎えます。

現在、市社協には約 600 名のボランティア登録があります。それに加えて、より広く高齢者の方にも自身の介護予防と身近な社会貢献の場と機会を得ていただくべく、平成 24 年(2012 年)10 月よりスタートした「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」(市受託事業)には 1,100 名あまりの方が登録し、新しい活動の担い手として期待されています。

今後も、ボランティアセンターがらっと多くのボランティアが集う豊中のボランティア活動拠点としてご活用いただけるよう運営してまいります。

また、阪神・淡路大震災から 27 年がたち、震災の記憶や経験が風化しないよう、今後いつ起こるかわからない災害に備えて、ボランティアセンターでは毎年、災害支援訓練や研修会を実施しています。

一方で、東日本大震災から 11 年になりますが、未だ復興は半ばで、長期的な支援が求められています。市社協でも東北・九州物産展の開催、ボランティアバスによる高校生ボランティア、職員の派遣などの継続した支援活動を行ってきました。平成 30 年には大阪府北部地震、台風 21 号災害が発生して豊中市内でも大きな被害があり、市社協では災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者のニーズに対応しました。また、令和の時代になって以降も全国各地では、地震や台風による災害が発生し、市社協といたしましても、募金活動をはじめ、雑巾や土嚢袋、文房具など被災地で不足している物資の支援などを行っています。これからも皆さまのご協力をいただきながら、息の長い支援を続けていきたいと考えております。

コロナ禍でボランティア活動に制限が多くある中ですが、これからボランティアをはじめの方へのみちしるべになればと願い、この冊子を作成しました。

冊子作成にあたり、ご協力いただきました市内のボランティアグループおよび校区福祉委員会の皆様方に厚くお礼申し上げます。

令和 4 年(2022 年)9 月

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会  
会長 永井 敏輝

## 目 次

豊中市社協ボランティア団体連絡会の歩み	1
ボランティアセンター ぴらっと	3
1. ボランティアとは	3
2. ボランティア活動の心構え	4
3. ボランティア活動の対象と種類	4
4. ボランティアセンターとは	5
5. ボランティアの登録とは	6
6. ボランティア活動をはじめたら	6
7. とよなか地域ささえ愛ポイント事業とは	7
8. 社会福祉協議会の有償市民サービス	8
9. 社会福祉協議会とは	10
10. 豊中市社協ボランティア団体連絡会	12
11. 災害支援ネットワーク	13
12. 小地域福祉ネットワーク活動	13
13. ボランティア活動についてのQ&A	14
14. 市内のボランティアグループの紹介	16
15. 各校区福祉委員会のボランティア部会の紹介	54
16. からだの不自由な方々へのふれあいエチケット	88
17. 総合相談窓口（こども、障害者、高齢者）	94